

ブリリアンクリプトトークンの販売及び取扱に関する開示情報

コインチェック株式会社（以下、「当社」といいます。）にてブリリアンクリプトトークンの販売及び取扱にあたり下記の情報を記載いたします。

ブリリアンクリプトトークン 販売概要（Initial Exchange Offering）	1
ブリリアンクリプトトークン 取扱概要（取引所）	2
ブリリアンクリプトトークン 取扱概要（販売所）	3
新規暗号資産の販売に関する規則、第5条1項の情報	4

ブリリアンクリプトトークン 販売概要（Initial Exchange Offering）

1. 発行者 : 株式会社Brilliantcrypto
2. 発行トークン : ブリリアンクリプトトークン（BRIL）
3. 総発行枚数 : 1,000,000,000枚
4. 販売総数 : 70,000,000枚（総発行枚数の7.0%）
5. 販売総額 : 1,512,000,000円
6. 申込開始日時 : 2024年 5月27日 正午
7. 申込終了日時 : 2024年 6月10日 正午
8. 申込取消/変更 : 不可
9. 販売価格 : 21.6円/BRIL
10. 払込通貨 : 日本円
11. 申込単位（1口） : 250 BRIL
12. 申込上限口数 : 2,000 口
13. 申込金額 : 1口座においてBRILの申込総数に販売価格を乗じた金額
14. 手数料率 : 8%（消費税含む）
15. 手数料 : 申込金額に手数料率を乗じた金額（消費税含む）
16. 払込金額 : 申込金額と手数料の合計金額
17. 日本円ロック : 申込時口座にある払込金額相当の日本円は当社によりロックされる（ロック期間中は、外部送金及び暗号資産の購入等への利用不可）
18. ミニマムキャップ : 1,512,000,000円
19. 販売成立条件 : 申込金額の総額がミニマムキャップ以上になること（不成立の場合には6ヶ月以内に再度販売期間を設定する予定）
20. 抽選日 : 2024年 6月 10日（申込金額の総額が販売総額を上回った場合に実施）
21. 抽選方法 : 平等配分及び口数比例抽選（口数ごとに抽選を実施、部分当選あり）（詳細は[こちら](#)）
22. 受渡日 : 2024年 6月 11日~2024年6月12日
23. 結果連絡日 : 2024年 6月 11日~2024年6月12日
24. 結果連絡方法 : メール及びサイト上に掲示

ブリリアンクリプトトークン 取扱概要（取引所）

1. サービスタイプ : 取引所
2. 取扱開始日時 : 2024年 6月 17日 11時30分から板寄せ方式により注文受付を開始し、正午（12時）に板寄せを行いザラバへ移行
3. 取扱開始方法 : 板寄せ
4. 約定方法 : 時間優先／価格優先
5. 最小注文数量 : 1 BRIL以上 かつ 500円(相当額)以上
6. 呼値 : 0.01 円
7. 通貨ペア : BRIL/JPY
8. 注文種類 : 指値、成行
9. 手数料 : Maker 0.050 % / Taker 0.100 %
10. サーキットブレーカー :
 - a. 発動条件 : 以下の条件を満たした後、速やかに移行処理を行い、サーキットブレーカーを発動して取引を一時中断
 - i. 最良気配値が制限値幅に接触する場合
 1. 最も価格が低い売り注文が制限値幅の上限以上に提示
 2. 最も価格が高い買い注文が制限値幅の下限以下に提示
 - ii. 最良価格の1つ内側の価格が約定もしくはキャンセルでなくなり、最良の気配値が制限値幅の上限以上または下限以下となる場合
 - iii. 制限値幅の上限以上または下限以下の価格で約定された場合
 - b. 基準価格 : 販売価格で開始する。サーキットブレーカー発動後にサーキットブレーカーの発動価格を基準価格として更新。日足更新タイミングで基準価格に洗替え。(制限値幅もリセットする)
 - c. 制限値幅 : 通常拡大値幅では基準価格の上下50%
第一次拡大値幅では40%
第二次拡大値幅以降は30%
 - d. 中断方法 : 発動条件を満たした後の当社の中断手続き完了後から中断開始
 - e. 再開方法 : 中断時間経過後、速やかに次の処理へ移行する処理を行い板寄せ方式により取引を再開

※その他詳細は、以下の説明をご覧ください。

<https://faq.coincheck.com/s/article/circuit-breaker?language=ja>

11. 板寄せ

- a. 注文方法 : 指値 ※ APIでのPostOnlyは通常指値としての扱い
- b. 注文受付期間 : 初回受付は約30分。それ以降は約2分
- c. 板寄せ時間 : 約10分程度 ※ 板の状態により早まる可能性有
- d. 板寄せ手数料 : 0.050%

※その他詳細は、以下の説明をご覧ください。

<https://faq.coincheck.com/s/article/itayose?language=ja>

ブリリアンクリプトトークン 取扱概要（販売所）

1. サービスタイプ：販売所
2. 取扱開始日：2024年 6月 17日
3. 取扱開始時間：正午以降、当社取引所に十分な流動性があることを確認できた後に開始
4. 最小注文数量：購入/売却ともに円建てで500円相当額、BTC建てで0.001 BTC相当額
5. 通貨ペア：BRIL/JPY、BRIL/BTC
6. 手数料相当額：以下の説明をご覧ください。

<https://coincheck.com/ja/info/fee>

新規暗号資産の販売に関する規則、第5条1項の情報

項目	内容
(1) 発行者の情報	
イ) 発行者の名称、所在地及び登録番号	<p>発行者の名称：株式会社Brilliantcrypto 所在地：〒107-0052 東京都港区赤坂九丁目7番2号 会社法人番号：0104-01-170824</p>
ロ) 発行者の沿革	<p>株式会社Brilliantcryptoは、「白猫プロジェクト」「クイズRPG 魔法使いと黒猫のウィズ」といったスマートフォン向けゲームの開発・運営に強みを持ち、東京証券取引所のプライム市場に上場している株式会社コロプラの100%出資により2022年11月に設立されました。株式会社コロプラの創業者である馬場功淳が代表取締役社長に就任しています。</p>
ハ) 発行者及びその関係会社が営む主な事業の概要	<p>①株式会社Brilliantcrypto（発行者） 株式会社Brilliantcryptoは、デジタル世界で価値を持つ本物の宝石を生み出し、社会的価値を創造する、持続可能なPlay to Earnゲームを目指すために設立されました。ブロックチェーン技術とコロプラグループが長年ゲーム事業で培ってきた豊富なノウハウを活用し、全世界に向けて、新しい価値を創造するために、ブロックチェーンゲームの開発を行っています。</p> <p>②株式会社コロプラ（関係会社） 株式会社コロプラは、「“Entertainment in Real Life” エンターテインメントで日常をより楽しく、より素晴らしく」をMissionとし、エンターテインメントを通じ、人々の何気ない日常をより豊かにすることを目指しており、エンターテインメント事業及び投資育成事業を営んでいます。エンターテインメント事業では、主にスマートフォン向けゲームの開発・運営を行っており、ユーザーとのエンゲージメントを高めることを意識した既存タイトルの運営及び新規タイトルの開発に注力しています。投資育成事業では、主に国内外のIT関連・エンターテインメント企業等を対象とした投資を行っています。</p>

<p>二) 発行者の役員の氏名及び 経歴</p>	<p>①馬場功淳 (代表取締役社長) 2003年3月 株式会社ケイ・ラボラトリー (現 KLab株式会社) 入社 2007年4月 グリー株式会社入社 2008年10月 株式会社コロブラ設立 代表取締役社長 2016年3月 一般財団法人クマ財団 (現 公益財団法人クマ財団) 設立 代表理事 (現任) 2021年12月 株式会社コロブラ代表取締役会長 チーフクリエイター (現任) 2022年11月 株式会社Brilliantcrypto設立 代表取締役社長 (現任)</p> <p>②原井義昭 (取締役) 2011年3月 有限責任監査法人トーマツ入所 2015年1月 株式会社コロブラ入社 2018年12月 株式会社コロブラ取締役 (現任) 2023年4月 株式会社Brilliantcrypto取締役 (現任)</p> <p>③山崎聡士 (取締役) 1995年4月 イノテック株式会社入社 2004年3月 ソニーグローバルソリューションズ株式会社入社 2005年8月 エルピーダメモリ株式会社 (現 マイクロンメモリジャパン株式会社) 入社 2006年3月 カシオ計算機株式会社入社 2020年3月 株式会社コロブラ入社 2023年4月 株式会社コロブラ執行役員 2023年4月 株式会社Brilliantcrypto取締役 (現任) 2023年12月 株式会社コロブラ取締役 (現任)</p> <p>④森林太郎 (取締役) 2005年4月 株式会社オリエンタルランド入社 2018年1月 株式会社コロブラ入社 2018年12月 株式会社コロブラネクスト 監査役 (現任) 2020年5月 株式会社MAGES. 監査役 (現任) 2023年6月 株式会社Brilliantcrypto取締役 (現任) 2023年10月 株式会社コロブラ執行役員 (現任)</p> <p>⑤菅井健太 (取締役) 2000年4月 株式会社富士設備入社 2001年12月 株式会社フォーラムエンジニアリング入社 2005年4月 コムシステクノ株式会社入社 2008年1月 フォートラベル株式会社入社 2010年6月 株式会社コロブラ入社 2016年12月 株式会社コロブラ取締役 (現任) 2024年5月 株式会社Brilliantcrypto取締役 (現任)</p> <p>⑥金海寛 (取締役) 2013年10月 株式会社バベル (現 株式会社サンカ) 設立 代表取締役社長 (現任) 2014年6月 株式会社Gengo (現 Lionbridge Technologies, Inc.) 入社 2016年11月 Square, Inc. (現 Block, Inc.) 入社 2020年1月 Revolut Technologies Inc. 入社 2020年12月 Coinbase Global, Inc. 入社 2024年5月 株式会社Brilliantcrypto取締役 (現任)</p> <p>⑦佐瀬伊代 (監査役)</p>
------------------------------	---

	<p>2004年12月 株式会社東京リーガルマインド入社 2006年7月 あずさ監査法人（現 有限責任あずさ監査法人）入所 2008年11月 公認会計士登録 2013年4月 株式会社コロプラ入社 2023年6月 株式会社Brilliantcrypto監査役（現任）</p>
ホ) 発行者の業績の概要	<p>発行者である株式会社Brilliantcryptoは、持続可能なPlay to Earnゲームを目指すために、ブロックチェーンゲームのリリースを予定しています。また、リリースに先立ち複数回のβテストを実施しています。 なお、発行者の2023年9月期の決算については次項を参照ください。</p>
ヘ) 発行者の財務の状況	<p>2023年9月期の貸借対照表及び損益計算書は以下のとおり。</p> <p>貸借対照表（単位:千円） 【資産の部】 流動資産：769,223 固定資産：2,557 資産合計：771,780</p> <p>【負債の部】（単位：千円） 流動負債：1,081,538 固定負債：- 負債合計：1,081,538</p> <p>【純資産の部】（単位：千円） 資本金：100,000 資本剰余金：100,000 利益剰余金：▲509,757 純資産合計：▲309,757 負債純資産合計：771,780</p> <p>なお、発行者は2023年10月に2,500,000千円の増資を実施しました。また、2024年3月に減資を実施し、資本金900,000千円を資本剰余金へ振り替えております。</p> <p>損益計算書（単位：千円） 売上高：- 売上原価：104,572 営業利益：▲506,566 経常利益：▲509,515</p>
ト) 発行者の社員数、組織及び機関	<p>社員数：35名（2024年4月1日時点） 組織及び機関：取締役会設置会社。組織はIEO準備室、事業部、事業推進部、バックエンド部、管理部、法務部、内部監査室の7つのグループで構成されています。</p>
チ) 発行者の株式の状況	<p>発行可能株式総数：60,000株 発行済株式総数：54,000株 株主：株式会社コロプラ（保有比率100%）</p>
リ) 発行者のコーポレート・ガバナンスの状況	<p>毎月取締役会を開催しています。監査役を選任し監査計画書に基づき、コーポレート・ガバナンスの統制を行っています。</p>

(2) 新規暗号資産の情報	
イ) 新規暗号資産の名称及びティッカーコード (シンボル)	<p>英語名称： Brilliantcrypto Token 日本語名称： ブリリアンクリプトトークン ティッカーコード(シンボル)： BRIL (ブリル)</p>
ロ) 新規暗号資産の発行及び販売の目的	<p>近年、ゲームをプレイすることで暗号資産を稼ぐことが可能な“Play to Earn”や“Move to Earn” など、 ブロックチェーン上で稼働する“X to Earn”系ゲームが世界で注目を集めるようになりました。</p> <p>“Play to Earn”や“Move to Earn”などの“X to Earn”系ゲームの多くが短期間でバブルの生成と崩壊を繰り返し、現状は利用者数や暗号資産の価値が下落しています。</p> <p>従来の“X to Earn”ゲームユーザーは、ユーザー自身が楽しむためにゲームをしているだけであって、他人に何かしらの価値提供をしているわけではありません。これではゲーム内で参加に支払った対価以外に新しい価値が作られているわけではないため、持続性が保たれません。</p> <p>また、従来の“X to Earn”ゲームはユーザーから集めた資金が増えるほど、先行者利益を得やすいような仕組みになっています。</p> <p>しかし、ゲーム内の経済圏だけで暗号資産をどう取り扱ったとしても、価値の総量が増えているわけではないため、ひとたびユーザー数の増加量が減少傾向になるとゲーム内の資金が減少し、ユーザーの利益が少なくなるため、ユーザー離れや新規流入者が減少し、その流れに拍車をかけることとなります。そのような流れがユーザー数の低下や暗号資産の価格が暴落することを招き、持続性が低いことが課題だと考えています。</p> <p>ビットコインは、新規のブロックを生成する際にProof of Workという一定のハッシュ値を求めるために演算作業を行います。演算力の高い高性能なコンピューターで膨大な電力を消費しながら、演算作業を行うことでハッシュ値を見つける確率をあげることができます。そのような演算作業によってビットコインの市場は流動性や安全性が保たれており、暗号資産としての価値を高めていくことができます。</p> <p>株式会社Brilliantcryptoが考案した「Proof of Gaming」はProof of Workをゲームに置き換えたモデルです。世界中のプレイヤーがゲームをプレイすることでマイニングが行なわれ、デジタル世界で採掘された宝石の価値を証明することで他人の価値が創出されます。</p> <p>ゲームプレイを他人の価値創出に繋げることで、持続可能なPlay to Earnゲームの実現を目指します。</p> <p>本新規暗号資産の発行及び販売の目的は、Proof of Gamingを実現するための、安全で法令を遵守した形で利用することが可能な暗号資産とその売買が可能な市場を利用者に提供すること、その事業展開のために必要な資金の調達を目的としています。</p>

<p>ハ) 具体的な用途</p>	<p>BRILは採掘で獲得できる輝石から変換されるゲームプレイ中に使用することができるユーティリティトークンです。</p> <p>ユーティリティは、以下の通りです。 つるはしのレベルアップ つるはしの耐久値回復 ゲーム内マーケットプレイスでの宝石の購入 ゲーム内マーケットプレイスでのつるはしの購入</p>
<p>ニ) 新規暗号資産の保有者に対して負担する債務がある場合には、当該債務の内容、債務者の情報及び履行期日並びに当該債務に係る債権の内容（譲渡方法、譲渡制限の有無、対抗要件の具備方法及び新規暗号資産の流出が生じたことにより当該債権を行使することができなくなる場合は当該債権の保全方法を含む。）</p>	<p>該当ありません</p>
<p>ホ) 前二に規定する債権に関し、新規暗号資産の保有者が不利益（発行者に起因するものを含む。）を被るおそれがある場合はその内容</p>	<p>該当ありません</p>
<p>ヘ) 新規暗号資産の発行上限を設ける場合には当該上限数</p>	<p>1,000,000,000枚</p>
<p>ト) 新規暗号資産の発行済みの数量</p>	<p>82,535,021枚（2024年5月1日時点）</p>
<p>チ) 新規暗号資産を取り扱う又は取り扱うことが決定している事業者（国内外を問わない。）が存在する場合には、当該事業者の名称及び取扱時期</p>	<p>（受託販売） 取扱事業者：コインチェック株式会社（当社） 販売用暗号資産受領日：2024年4月15日 受託販売開始日：2024年5月27日</p> <p>（二次流通） 取扱開始日：2024年6月17日 サービスタイプ：取引所、販売所</p>

<p>リ) 新規暗号資産の追加発行、追加販売又は無償付与（以下「追加発行等」という。）を予定している場合には、当該追加発行等の内容（追加発行等を予定しない場合には、その旨）</p>	<p>①追加発行・追加販売 IEO実施時点において全量の割当枚数は発行せず、発行者が運営するブロックチェーンゲームにおける実績に基づき予想される必要量、及びその他マーケティング等における必要量を、発行者の決裁を経て都度発行します。</p> <p>②無償付与 下記(5)新規暗号資産の販売に関する情報の「カ）無償で新規暗号資産を付与（以下「無償付与」という。）する場合には次に掲げる事項」を参照ください。</p>
<p>ヌ) 過去に新規暗号資産の販売（有利販売（本項第5号ワに定める有利販売をいう。）及び無償付与を含む。）が行われた場合には、当該販売等の状況</p>	<p>該当ありません</p>
<p>ル) 発行者が発行済みの新規暗号資産を償却（当該暗号資産を消滅又は永続的に使用不能にすることをいう。以下同じ。）することを予定している場合には、当該償却の内容</p>	<p>該当ありません</p>
<p>ヲ) 新規暗号資産についてマーケットメイカーが存在する場合には、当該マーケットメイカーの名称及びマーケットメイクの内容</p>	<p>マーケットメイカーの名称：System9 Japan 合同会社 住所：東京都中央区八重洲二丁目1番1号YANMAR TOKYO 代表者：デズモンド・タン・ユアン・ジェン ウェブサイト(Global)：https://system9.io/</p> <p>マーケットメイクの内容（通常時）： 売値と買値のスプレッドが一定以下になるような板出しを行う 売りと買いに一定金額以上の板出しを行う ※マーケットメイクはマーケットメイカーの独自裁量により一定期間において適宜行われるものであり、常にマーケットメイクを行うことをマーケットメイカーが保証するものではありません。</p>
<p>ワ) 新規暗号資産の対象システム（第17条に定める対象システムをいう。）に脆弱性が発見された場合等において、新規暗号資産の移転の停止その他緊急対応措置を講じる可能性がある場合にはその旨</p>	<p>対象システムの脆弱性等が発見された場合、発行者は以下のプロセスに沿って対応します。</p> <p>①代表取締役への報告 ②代表取締役の判断により、システム全体の停止や部分停止等の措置を行います。</p> <p>また、当社は「暗号資産取扱規則」第9条にて定められた以下のプロセスを実施します。</p> <p>①BRILの再評価 ②当社における取扱い継続が適当でない判断した場合、経営会議に付議 ③経営会議で協議の上、一時中止が適当であると判断された場合一時中止を決議</p> <p>一時中止を解除する場合は、上記①から③の手続きを再度実施します。なお、顧客資産の保護に影響が出るなど緊急性が高い場合は当社の定めに従い暗号資産の取扱いを一時中止します。</p>

<p>力) 発行者が保有し、又は保有することとなる新規暗号資産の総量（総量が特定できない場合には、その上限及び下限）</p>	<p>総発行枚数1,000,000,000枚の内、IEO販売分を除いた最大930,000,000枚（93%）が発行者の保有となり、以下のように分配されます。</p> <p>①チーム：（3%） プロジェクトを開発・運用するチームメンバーへのインセンティブとして使用されます。プロジェクト初期の安定的なガバナンス体制及び長期的なコミットメントを前提とするため、チーム分に関しては一定期間の売却制限を設定します。売却制限についての詳細はこちら</p> <p>②マーケティング：（20%） 開発や運営を継続的に維持するためのパートナー企業、個人に割り当てられます。また、流動性対策としてマーケットメイカー等に融通する場合もここから割り当てられます。マーケティング分に関しては、IEO実施時点において全量の割当枚数は発行せず、一定期間のロックアップを設定します。ロックアップについての詳細はこちら</p> <p>③ゲーム供給：（70%） ゲームプレイによってユーザーが獲得する報酬に使用されます。IEO実施時点において全量の割当枚数は発行せず、実績に基づき予想される報酬量から算出した数量を発行者の決裁を経て都度発行をしていきます。</p> <p>※BRIL pointからBRILに変換される場合もここから割り当てられます。 BRIL pointは採掘で獲得できる輝石から変換されるゲームプレイ中に使用することができるゲーム内通貨です。ゲームプレイ報酬として獲得ができます。 選択した国の取引所にてBRILの取り扱いが開始されるとBRIL pointはBRILへ発行者が任意に設定したタイミングで変換されます。</p>
<p>ヨ) 発行者が保有する新規暗号資産の財務諸表上の取扱い</p>	<p>財務諸表上における発行者が保有する当該新規暗号資産の評価はゼロ円とします。</p>
<p>タ) その他概要説明書（暗号資産の取扱いに関する規則第5条に定める概要説明書をいう。）記載の内容</p>	<p>当社取扱い暗号資産の概要を参照ください。 https://coincheck.com/images/outline/currency_outline.pdf</p> <p>なお、BRILに関する概要は、申込開始日である2024年5月27日に掲載予定です。</p>

(3) 調達資金の情報	
イ) 調達資金の用途の詳細	<p>調達した資金の用途の内訳は以下の通りです。</p> <p>40%：オペレーション 発行者の管理・統制・会社運営に係る活動、BRILの安定した運用において必要となる暗号資産交換業者といった外部専門家への支払に用いられます。</p> <p>45%：マーケティング 対象事業のマーケティングによるユーザーの拡大、及びコミュニティを拡大するための活動に用いられます。</p> <p>10%：開発 対象事業を拡大し、活性化させるアプリケーションの機能追加・維持に用いられます。</p> <p>5%：予備費 上記の資金用途及びそれに準じる諸経費、法人税等の租税の支払にも充てられます。</p>
ロ) 調達資金の財務諸表上の取扱い	新規暗号資産の販売により調達した資金は財務諸表上、前受金又は契約負債として取扱われます。
(4) 対象事業の情報	
イ) 対象事業の目的	「(2) 新規暗号資産の情報、ロ) 新規暗号資産の発行及び販売の目的」を参照ください。
ロ) 対象事業の詳細	<p>デジタル世界で価値を持つ本物の宝石を生み出し、社会的価値を創造する、持続可能なPlay to Earnゲームを目指すための、ブロックチェーンゲームの開発を担います。</p> <p>当該ブロックチェーンゲームは、世界中のユーザーが採掘者となり、提供される鉱山から宝石や暗号資産に変換されるアイテムの獲得を目指すゲームで、手に入れた宝石は暗号資産と交換したり、ゲーム外の様々なメタバースへ持ち出せるポテンシャルがあります。</p> <p>新規暗号資産は、本ブロックチェーンゲームの中で、その採掘の手助けとなる様々なサービスの提供を受けるための通貨として利用することができます。</p>

<p>八) 対象事業の事業計画の詳細</p>	<p>2023年10月から3期分の事業計画に基づいた損益計算書は以下の通りとなっています。</p> <p>2024年9月期 売上:9.74億円 費用: 20.50億円 法人税: 0.00億円 当期純利益: ▲10.75億円</p> <p>2025年9月期 売上: 25.57億円 費用: 15.84億円 法人税: 1.80億円 当期純利益: 7.93億円</p> <p>2026年9月期 売上: 23.48億円 費用: 10.88億円 法人税:1.61億円 当期純利益: 10.99億円</p>
<p>二) 対象事業の主要な推進者の経歴</p>	<p>主要な推進者は、発行者の代表取締役社長の馬場功淳、取締役の原井義昭、森林太郎、山崎聡士、菅井健太及び金海寛です。</p> <p>経歴については、「(1) 発行者の情報、二) 発行者の役員の氏名及び経歴」を参照ください。</p>
<p>ホ) 対象事業の破綻が新規暗号資産の価格に与える影響</p>	<p>BRILの価格はそれを利用するゲームにも依存するため、そのゲームが破綻した場合は利用者の減少及び、価値の下落に繋がる可能性があります。しかしBRILは、オープンソースのパブリックブロックチェーンです。Polygon上に発行されるトークンであることから、対象プロジェクトが破綻した場合であってもトークン自体はチェーン上に残り続けるため、価値が完全に消失する可能性は低いと評価しています。</p>
<p>へ) 対象事業の遂行のために必要な体制の状況</p>	<p>「(1)発行者の情報、ト)発行者の社員数、組織及び機関」を参照ください。</p>
<p>ト) 対象事業の実現可能性等</p>	<p>発行者から提供された事業計画について、当社は計画遂行に重要な影響を及ぼす要因を特定し、それら各要因に対して妥当性及び実現性に関する評価を行いました。また、当該事業計画の遂行に与える影響の大きい項目については、一定の負荷をかけることにより財務の安定性を検証しました。</p> <p>この評価プロセスの結果、当社としては当該事業計画は妥当であり、実現可能であることを確認しました。</p>

(5) 新規暗号資産の販売に関する情報

イ) 販売価格	1BRIL=21.6円
ロ) 販売価格の算定根拠	<p>当社は、第三者によるトークン価値評価報告書（以下、「評価書」という）等を参照し、当社にて販売価格レンジを算定し、最終的にはIEO実施前の市場動向等を踏まえ、総合的観点から販売価格を決定しています。</p> <p>評価アプローチとしては、トークンと法定通貨の類似性に着目し、トークン・エコノミーを小規模な経済圏と見做すことによりトークン価値を算定する貨幣数量説を採用しています。</p> <p>具体的には、フィッシャーの交換方程式（$MV=PT$、M:貨幣数量、V:流通速度、P:物価、T:財貨の取引総量）を構成するP（物価）以外の変数を算定し、トークン価格を算定しています。</p> <p>なお、前述したフィッシャーの交換方程式における各変数はさらに幾つかのパラメーターにより構成されており、当社はそれら個別パラメーターの妥当性を評価し、一部のパラメーターに対しては保守的な補正を行っています。</p>
ハ) 販売及び無償付与の対象となる新規暗号資産の総量（以下「販売等予定総量」という。）	<p>①販売総量 70,000,000 枚（総発行枚数の7.0%）</p> <p>②無償付与 上限200,000,000枚（総発行枚数の20.0%）用途は「カ）無償で新規暗号資産を付与（以下「無償付与」という。）する場合には次に掲げる事項」を参照ください。</p>
ニ) 販売期間（販売期間を定めない場合にはその旨）	申込開始日：2024年5月27日 正午 申込終了日：2024年6月10日 正午 抽選日：2024年6月10日（申込終了後） 受渡日：2024年6月11日から2024年6月12日まで
ホ) 購入の申込み方法	当社ホームページログイン後、指定フォームによる申し込みを行います。
ヘ) 購入の申込後の撤回の可否及び撤回の方法	申し込み後のキャンセルは不可となります。
ト) 販売の対価として購入者が払い込む暗号資産又は法定通貨の額等（以下「払込金額等」という。）に下限を設ける場合にはその内容	購入者は申込時に250BRILを1口とし、1口を下限、2,000口を上限とした範囲内の口数を指定します。

チ) 払込金額等の払込方法及び払込期限	<p>当社は申し込み時に以下の合計金額（払込金額等）と同額の購入者の口座にある日本円をロックする予定です。（ロック期間中、当該資金による暗号資産の売買や外部送金等は不可とします）</p> <p>①申込金額：販売価格に申込口数を乗じた金額 ②販売手数料：申込金額に手数料率（次項参照）を乗じた金額</p>
リ) 新規暗号資産の販売に際して購入者が支払うべき手数料、報酬若しくは費用の金額若しくはその上限額又はこれらの計算方法	<p>販売手数料率：8%（消費税を含む） 販売手数料計算方法：前項②参照</p>
ヌ) 払込金額等の総額等（以下「払込総額等」という。）又は新規暗号資産の販売総量が基準値に満たない場合において、払込金額等の全部又は一部を返還するときにはその旨並びに返還時期及び返還方法	<p>申込総量に販売価格を乗じた金額がミニマムキャップ金額に達しなかった場合には、申込期間終了日の翌日に当社はロックした払込総額等の全額の解除を行います。</p>
ル) 新規暗号資産の受渡方法及び受渡時期	<p>受渡方法：当選口数（未抽選の場合には申込口数）相当の申込金額及び販売手数料の合計金額が口座から引き落とされ、その対価となる当該新規暗号資産が口座に振り込まれます。部分当選となった場合、当選した口数分の日本円と手数料のみが引き落とされ、差額の日本円については同日にロックが解除されず。</p> <p>受渡日：2024年6月11日から2024年6月12日まで</p>
ロ) 新規暗号資産の販売に条件を付す場合には、当該条件の内容	<p>申込総量に販売価格を乗じた金額がミニマムキャップ金額に達しなかった場合、ロックした払込金額等の全額を解除し、需要・市場動向を踏まえた販売数量及び販売価格の再設定の上、6ヶ月以内に再度IEOを実施します。本IEOにおいてはミニマムキャップと販売総額は同額の条件で実施します。</p>
ワ) 通常よりも有利な価格で新規暗号資産を販売（以下「有利販売」という。）する場合には次に掲げる事項	
a.有利販売の期間	該当ありません
b.有利販売の目的	該当ありません
c.有利販売の対象者	該当ありません
d.有利販売の数量及び販売等予定総量に対する割合	該当ありません
e. 有利販売の価格及び割引率	該当ありません

カ) 無償で新規暗号資産を付与（以下「無償付与」という。）する場合には次に掲げる事項	
a. 無償付与の時期	未定
b. 無償付与の目的	マーケティング等の事業推進を目的として、本ブロックチェーンゲームの利用者や事業のパートナーに対して、また、発行者が認める者に対して付与する可能性があります。
c. 無償付与の対象者	本ブロックチェーンゲームの利用者や事業のパートナーに対して、また、発行者が認める者。
d. 無償付与の数量及び販売等予定総量に対する割合	無償付与の総量は「ハ）販売及び無償付与の対象となる新規暗号資産の総量（以下「販売等予定総量」という。）」を参照ください。
ヨ) 新規暗号資産の販売に際して優待プログラムを実施する場合には、当該優待プログラムの内容及び適法性並びに利用者との利益相反の有無	該当ありません
タ) 新規暗号資産の販売に関しての相談及び苦情に応ずる営業所の所在及び連絡先	当社暗号資産取引説明書「苦情受付・苦情処理・紛争解決・金融ADR制度について」を参照ください。 https://coincheck.com/ja/agreements_url?type=transaction_manual
シ) 購入者が利用できるADR機関の名称及び連絡方法	同上
ソ) 新規暗号資産の販売に係る準拠法及び裁判管轄	準拠法：日本法 裁判管轄：東京地方裁判所 当社利用規約「第22条（準拠法及び管轄裁判所）」を参照ください。 https://coincheck.com/ja/info/terms
ツ) 新規暗号資産の販売に際して発行者及び購入者との間で権利義務関係が発生する場合には、当該権利義務の内容	該当ありません

【注意事項】

- BRILは「Brilliantcrypto」においてのみ使用できる暗号資産であり、ゲームの利用動向によって価格が変動する可能性があります。

以上
2024年5月20日